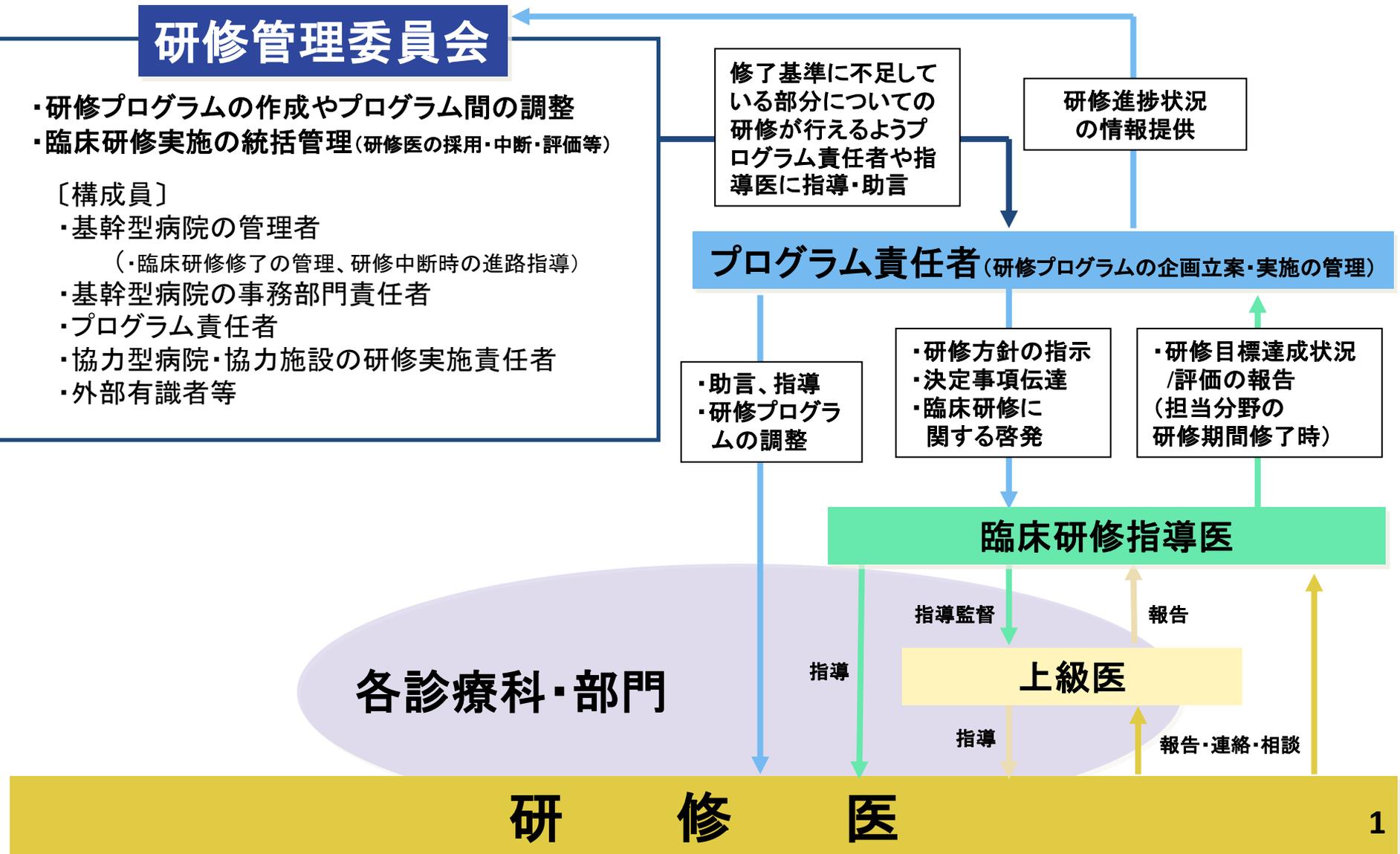


臨床研修病院の指導管理体制

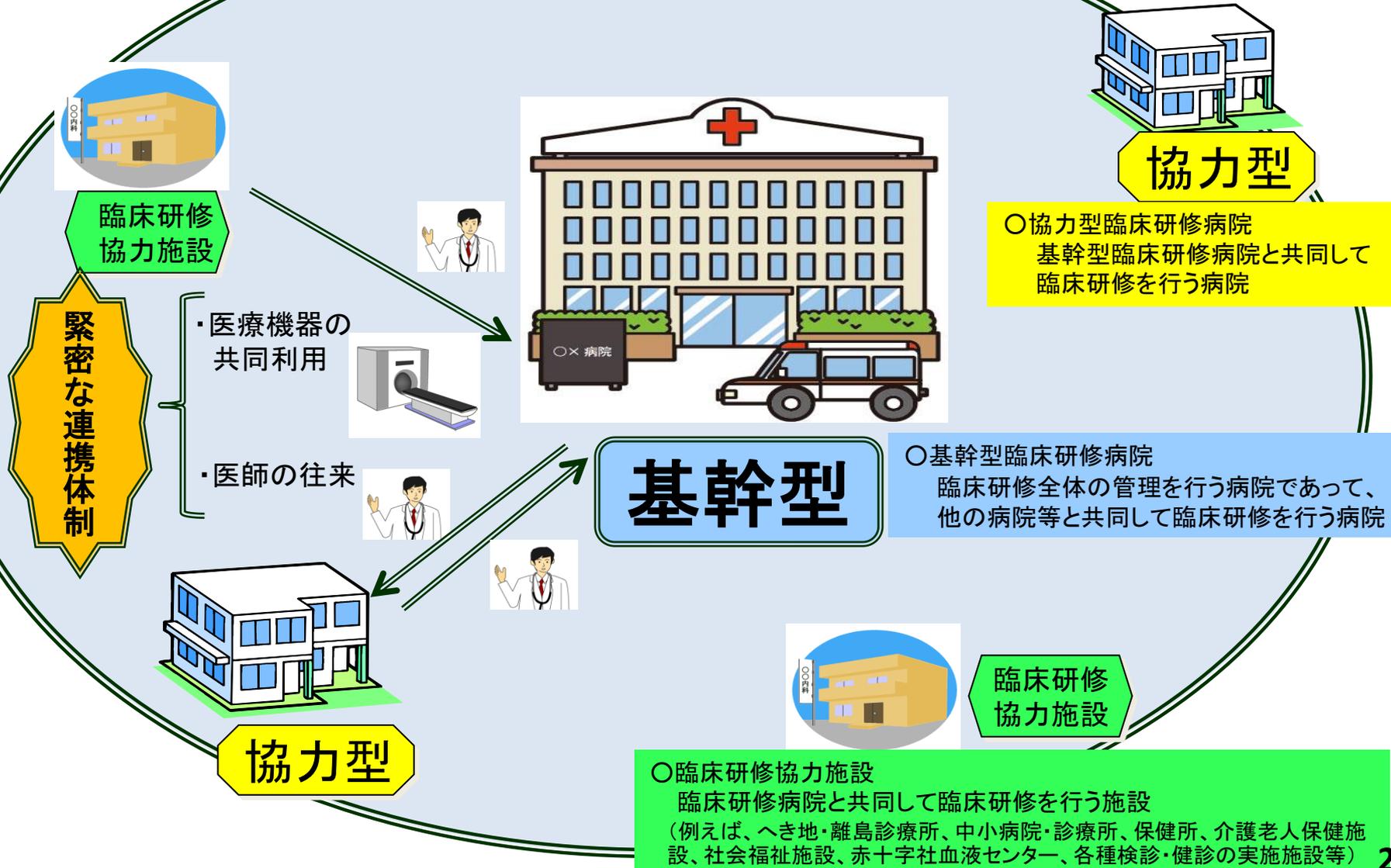
資料1－1:臨床研修を行う病院の組織体制	・・・1頁
資料1－2:臨床研修病院群の概要	・・・2頁
資料1－3:診療科の履修状況と評価	・・・4頁
資料1－4:臨床病理検討会の開催状況	・・・6頁
資料1－5:指導医講習会の現況	・・・7頁

臨床研修を行う病院の組織体制



臨床研修病院群の概要

資料1-2



臨床研修病院群の概要②

資料1-2

- 基幹型臨床研修病院1, 026病院について、病院群の類型を3つに整理
(病院数は平成24年度に臨床研修を実施予定の病院数)

A型

協力型臨床研修病院、
臨床研修協力施設
とで構成

基幹型病院

942病院



協力型病院



臨床研修協力施設



B型

協力型臨床研修病院
とで構成

基幹型病院

26病院



協力型病院



C型

臨床研修協力施設
とで構成

基幹型病院

58病院



臨床研修協力施設



※ 臨床研修協力施設

○臨床研修病院と共同して臨床研修を行う施設(例:へき地・離島診療所、中小病院・診療所、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、日本赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施施設等)

○原則として、全研修期間のうち、基幹型病院での研修は8ヶ月以上、臨床研修協力施設での研修は3ヶ月以内(へき地・離島診療所は除く)。

※ C型の病院群では、必ず臨床研修協力施設に医療機関が含まれる。

臨床研修を行う病院の体制(大学病院)

新制度

改善すべき点

大学病院で研修(285人)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 多くの診療科をローテーションするため深く学べなかった | 40.4% |
| 2. 手技を豊富に経験出来なかった | 32.3% |
| 3. 一般的な疾患を多く経験出来なかった | 28.4% |

良かった点

大学病院で研修(333人)

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 将来希望する診療科の実態が把握出来た | 63.4% |
| 2. 指導医の数が豊富であった | 48.0% |
| 3. 多くの診療科をローテーション出来た | 43.5% |

旧制度

改善すべき点

大学病院で研修(360人)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 研修プログラムが充実していなかった | 30.6% |
| 2. 多くの診療科を選択出来なかった | 28.6% |
| 3. 手技を豊富に経験出来なかった | 26.9% |

良かった点

大学病院で研修(418人)

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 将来希望する診療科の実態が把握出来た | 49.5% |
| 2. 手技を豊富に経験出来た | 47.4% |
| 3. 熱心な指導医がいた | 39.7% |

※・・「新制度(平成16～平成19年卒)および旧制度(平成13～15年卒)で臨床研修を実施した各医師を対象に、「臨床研修を行った病院で特に改善して欲しい点」の選択肢を複数回答(回答率が20%以上で、かつ上位3項目までの回答のみを掲載)

臨床研修を行う病院の体制（臨床研修病院）

資料1-3

新制度

改善すべき点

臨床研修病院で研修（299人）

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. シュミレーターや図書など機器や設備が充実していなかった | 32.1% |
| 2. 多くの診療科をローテートするため深く学べなかった | 31.1% |

良かった点

臨床研修病院で研修（352人）

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 一般的な疾患を多く経験出来た | 67.3% |
| 2. 診療科同士の垣根が低かった | 64.8% |
| 3. 手技を豊富に経験出来た | 59.9% |

旧制度

改善すべき点

臨床研修病院で研修（73人）

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 多くの診療科をローテートするため深く学べなかった | 23.3% |
| 1. シュミレーターや図書など機器や設備が充実していなかった | 23.3% |
| 3. 研修プログラムが充実していなかった | 21.9% |
| 3. 臨床研修後の進路が整っていなかった | 21.9% |

良かった点

臨床研修病院で研修（94人）

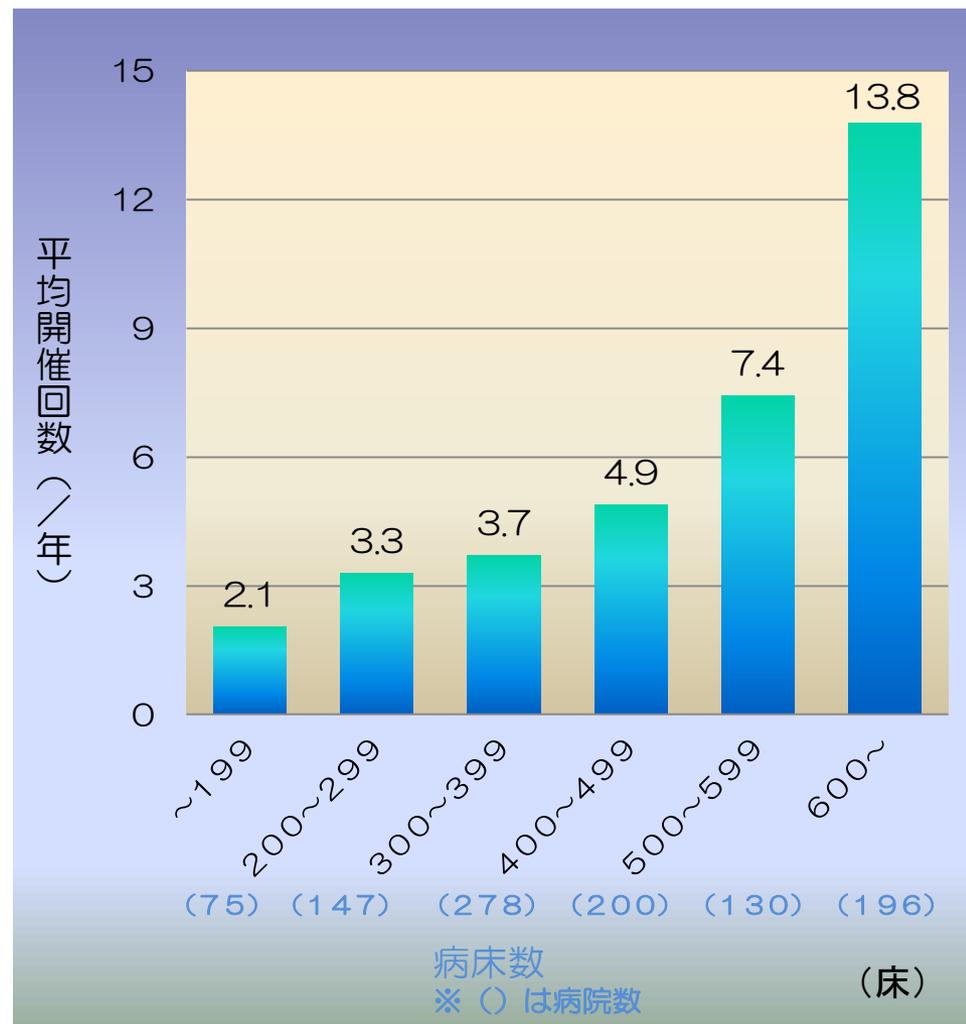
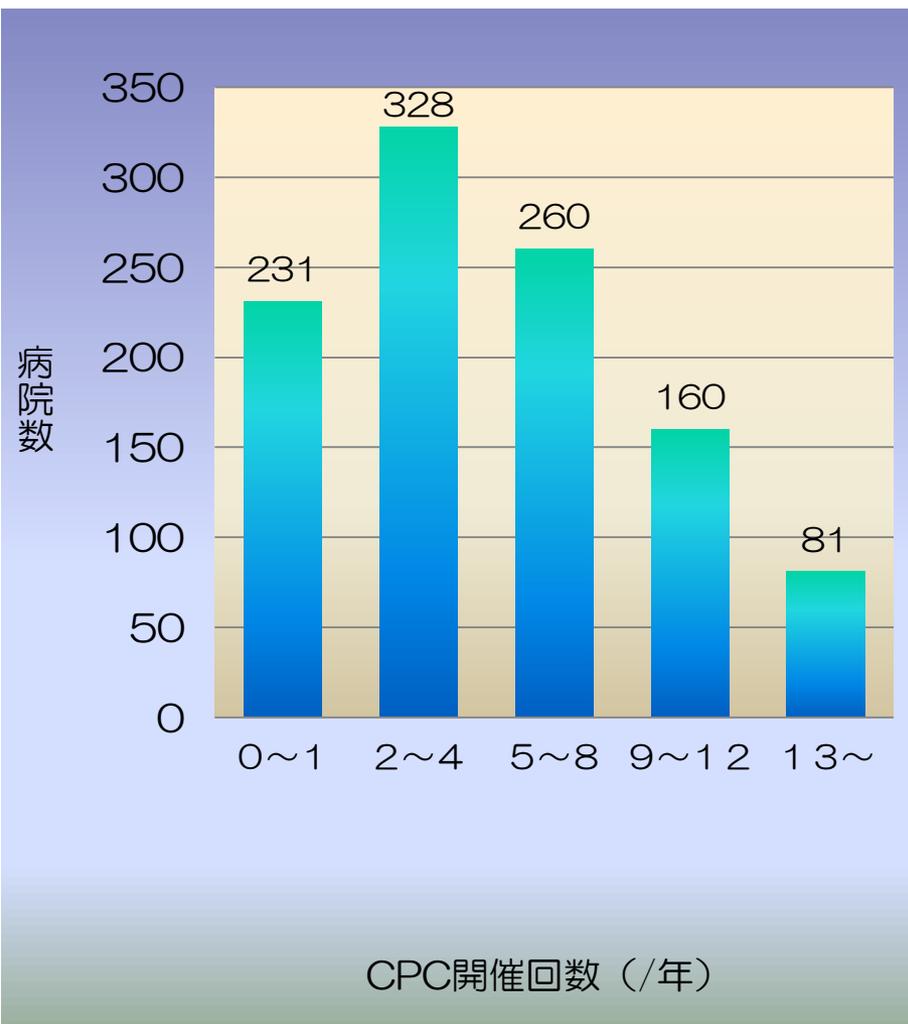
- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 一般的な疾患を多く経験出来た | 67.0% |
| 2. 手技を豊富に経験出来た | 63.8% |
| 3. 研修医1人当たりの症例数が充実していた | 61.7% |

※・・「新制度（平成16～平成19年卒）および旧制度（平成13～15年卒）で臨床研修を実施した各医師を対象に、「臨床研修を行った病院で特に改善して欲しい点」の選択肢を複数回答（回答率が20%以上で、かつ上位3項目までの回答のみを掲載）

臨床病理検討会（CPC）の開催状況

資料1-4

- 病床規模が大きくなるほど、CPCの実施回数が多くなる。
- 小規模病院においても、一定程度のCPCを実施している。



※ 2011年度における臨床研修基幹型病院の（臨床研修医の募集に関わらず）、2010年度におけるCPCの開催件数を集計
 ※1病院あたりの年間開催回数

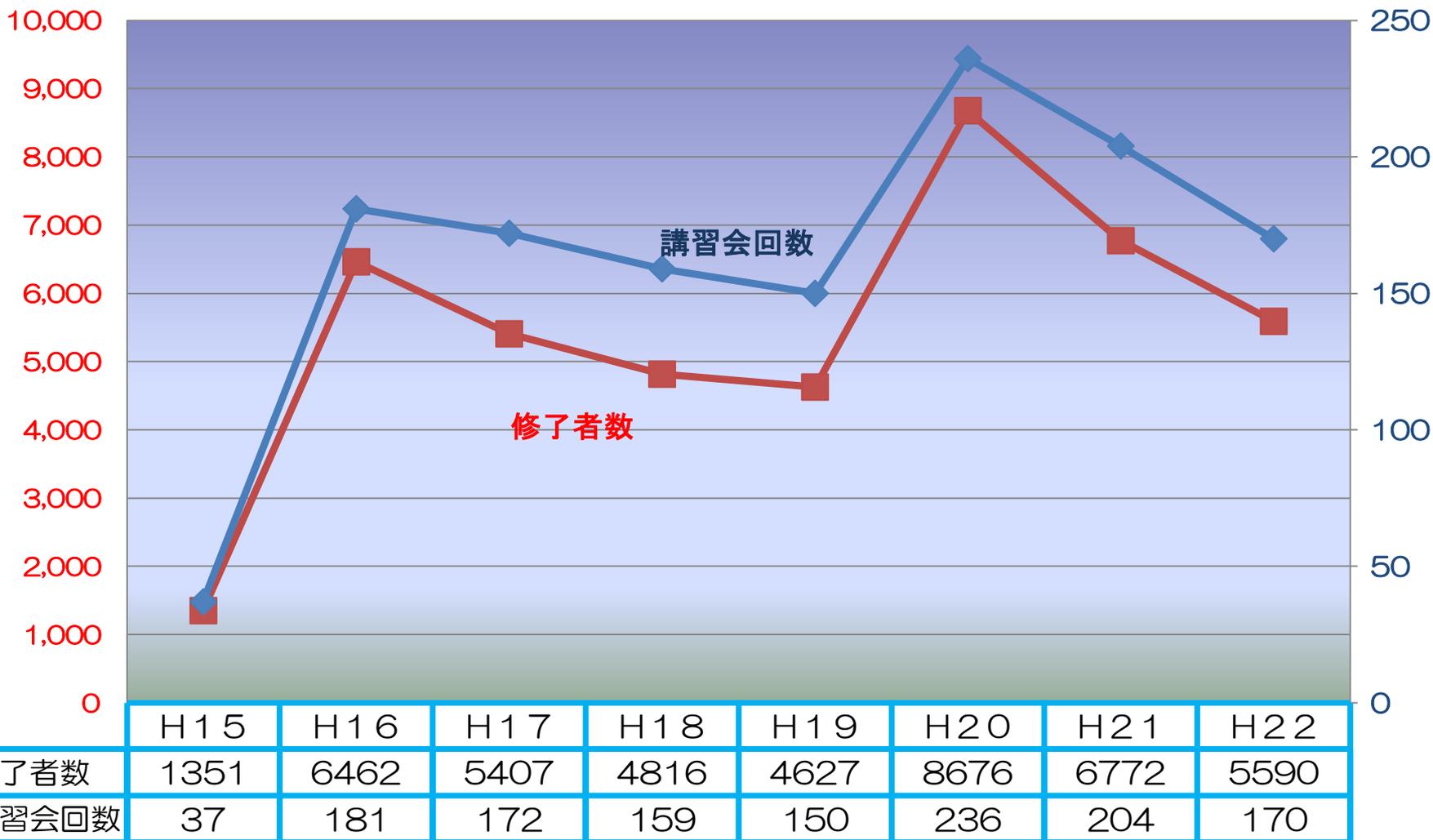
指導医講習会の現況

趣旨	臨床研修指導医の資質の向上及び臨床研修を行う病院・施設における適切な指導体制の確保に資することを目的とする
期間	講習時間は16時間以上、かつ原則2泊3日以上 (指導医講習会の開催期間が1泊2日でも講習時間は16時間以上確保)
形式	ワークショップ(参加者主体の体験型研修)形式 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が能動的・主体的に参加するプログラム ・参加者が6名から10名までのグループに分かれて行う討議及び発表を重視した内容 ・グループ討議やグループ発表の結果が盛り込まれた講習会報告書が作成される
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな医師臨床研修制度 ・プライマリ・ケアの基本的診療能力 ・医療の社会性 ・患者と医師との関係 ・医療面接 ・根拠に基づいた医療(EBM) ・医療安全管理 ・地域保健・医療 ・指導医の在り方 ・研修プログラムの立案 ・研修医、指導医及び研修プログラムの評価
修了	指導医講習会の修了者に対して、修了証書が交付される

指導医講習会の現況②

資料1-5

○現在までに、講習会は延べ1,309回開催され、講習会修了者数は延べ43,701人となっている



※平成16年3月18日に発出した「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」にのっとりた講習会。
 ※平成15年6月12日から平成23年3月31日までの開催状況（医師臨床研修推進室確認分）